

# ウィーンのニューイヤー・コンサート 美しく青きドナウ



シュトラウス時代より  
伝統の弾き振り!

ヴァリー・ビュッヒラー  
[指揮&ヴァイオリン]



*Strauss Festival Orchestra Vienna*

## ウィーン・シュトラウス・フェスティヴァル・オーケストラ 新年を祝う ワルツ、ポルカ、オペレッタ

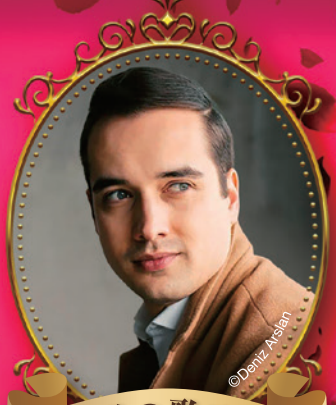
生誕200年 ベスト・オブ・ヨハン・シュトラウスⅡ



煌びやかな歌声  
ローレン・アーカート  
[ソプラノ]

喜歌劇「こうもり」序曲、チャルダッシュ  
ワルツ「美しく青きドナウ」、「皇帝円舞曲」  
「春の声」♥  
喜歌劇「ヴェネツィアの一晩」より“ Gondola Song ”◆  
喜歌劇「ウィーン気質」より二重唱“どうしても許せないこととは”♥◆  
ポルカ・シュネル「観光列車」、「狩り」、「トリッチ・トラッチ・ポルカ」  
フランス風ポルカ「お気に召すまま」、「クラブフェンの森にて」  
行進曲「ベルシア行進曲」

ダンス：マリー・ブルイユ、ベルナルド・リベイロ



圧巻の歌唱力  
アレクサンドル・ブシャ  
[バリトン]

(順不同)

2025 1/11 (土) 2:00PM開演(1:15PM開場) 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール  
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

A 7,000円 B 5,000円 C 3,000円 D 2,000円 (税込/全席指定)  
ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 [10:00AM-5:00PM 月曜休み※祝日の場合翌日]

一般発売 9/8(日) チケット予約 ●芸術文化センター 0798-68-0255 <https://www.gcenter-hyogo.jp> 芸術文化センター会員先行予約受付開始 9/5(木)  
●チケットぴあ <https://pia.jp/t/> ●ローソンチケット <https://l-tike.com> ●イープラス <https://eplus.jp>

直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター [9/10(火)より、残席がある場合のみ] ※未就学児童はご入場いただけません。 ※プレイガイドでのお取り扱いについては各プレイガイドにお問い合わせください。  
※やむを得ない事情により出演者、曲目等が変更となる場合があります。予めご了承ください。 主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



# 美しく青きドナウ

## ウィーンの調べで新年を華やかに!



新年に聴けば心が華やくワルツ「美しく青きドナウ」、そして壮麗な皇帝円舞曲…「ワルツ王」ヨハン・シュトラウスII世の歓び溢れる音楽をたっぷりとお贈りするニューイヤー・コンサート。毎回、私たちを魅了するウィーン・シュトラウス・フェスティヴァル・オーケストラの華麗な演奏を、今年もお楽しみいただけます!

このウィーンを代表する栄誉あるオーケストラを率いるのはヴィリー・ビュッヒラー。ウィーン交響楽団のコンサートマスターとしても活躍する彼が、シュトラウスと同じスタイルでヴァイオリンを手に、鮮やかな弾き振りを披露。そして歌手は、ともにウィーン・フォルクスオーパーで活躍する、ソプラノのローレン・アーカートとバリトンのアレクサンドル・ブシャ。艶やかな歌声で華をそえます。さらに美しく軽やかなダンス、楽しい演出と見どころが満載です。

ウィーンの薫りに包まれて、開館20周年を迎える兵庫県立芸術文化センターの年はじめを、ご一緒に過ごしませんか?

Willy Büchler, conductor & violin

### ヴィリー・ビュッヒラー (指揮&ヴァイオリン)

ウィーン・シュトラウス・フェスティヴァル・オーケストラ初の客演指揮者を20年務めた後、現在はペーター・グートと共に音楽監督の任を果たすウィーンに生まれ。ウィーン音楽大学でヨゼフ・シーヴォに師事。20歳でオーストリアのフォーラルベルク州立音楽院の教授に就任。ウィーンに戻ると、ウィーン放送交響楽団のヴァイオリン副首席を務めると共に、音楽大学で教鞭をとった。1992年から、ウィーン交響楽団のメンバーで構成されるEos四重奏団のリーダーとしてコ

ンツェルトハウスで定期演奏会を行なう。1995年にはウィーン交響楽団のコンサートマスターにも任命されている。ウィーン放送響の第1ヴァイオリンの首席奏者も務めている。ウィーン・シュトラウス・フェスティヴァル・オーケストラではヨハン・シュトラウス時代の伝統を受け継ぎ、“ヴァイオリンを手に”指揮をし、純粋なウィーンの伝統を備えた演奏で、好評を博している。

Strauss Festival Orchestra Vienna

### ウィーン・シュトラウス・フェスティヴァル・オーケストラ

1978年イタリアでのシュトラウス・フェスティヴァルを機に設立されたオーケストラ。99年のシュトラウス・イヤーにはウィーン市から「世界に対してウィーン市を代表するオーケストラ」として選ばれている。これを機に2000年1月1日より、ウィーン・コンツェルトハウスでのニューイヤー・コンサートに出演する栄誉を授

かり、いまだかつてない大成功を収めた。シュトラウス、レハール等のウィーン音楽には定評があり、美しい音色、ウィーンならではの魅力と喜びに満ちた演奏で聴衆を魅了している。ウィーン音楽の伝統を守り伝えていくという重要な役割を担っており、ヨーロッパでもトップのアンサンブルとして君臨する。

Lauren Urquhart, soprano

### ローレン・アーカート (ソプラノ)

アメリカ人のローレン・アーカートは2018年にヨーロッパへ移り、ウィーン・フォルクスオーパー史上最年少メンバーとして採用された2019/20シーズンから、同劇場のソリストとして活躍している。2022/23シーズンには、『ラ・チェネレントラ』のクロリンダ、『ラ・ボエーム』のムゼッタ、『魔笛』のパミーナ、『こうもり』のアデーレ、『フィガロの結婚』のスザンナ、『サウンド・オブ・ミュージック』のマリアなどにデビュー。彼女は、ニュルンベルク国立劇場で初演された『アンナ・ニコル』でシェリー役を演じ、ドイツ・デビューを飾った。ヨーロッパに移ってからは、新曲の歌唱を得意とし、さまざまな初演に参加している。



©Devon Cass

Alexandre Beuchat, baritone

### アレクサンドル・ブシャ (バリトン)

スイスのバリトン、アレクサンドル・ブシャは2016年にルツェルン音楽院のバルバラ・ロッハー教授のもとで演奏修士号を取得した。2015/16シーズンには、ルツェルン劇場のアンサンブル・メンバーとしてブリティッシュ『アルバート・ヘリング』のゲッジ氏やソンドハイム『スウィーニー・トッド』のアンソニー・ホープ役を務めた。2016年9月より、ウィーン・フォルクスオーパーのアンサンブル・メンバー。2022/2023シーズンには、ブッチーニ『ラ・ボエーム』のマルチェット、モーツァルト『フィガロの結婚』のアルマヴィーヴァ伯爵、レハール『メリー・ウィドウ』のダニロ、そしてモーツァルト『魔笛』のパパゲノ役を務める。



©Deniz Arslan

Marie Breuilles, dancer

### マリー・ブルイユ (ダンサー)

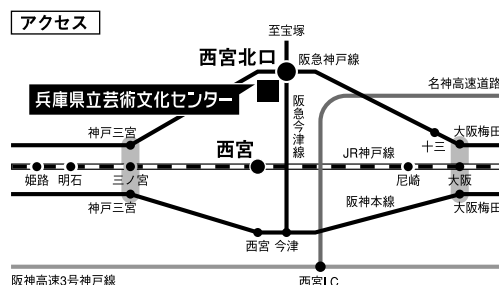
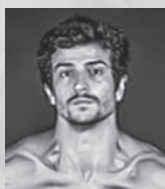
パリ生まれ。パリ国立高等舞踊学校で学んだ後、ボルドー・オペラ座バレエ団に入団。2016年ウィーン国立バレエ団に入団。レパートリーは、ヌレエフの『くるみ割り人形』、『ライモンダ』、『白鳥の湖』、バラシンの『ジュエルズ』、『シンフォニー・イン・C』、エレナ・チェルニシヨワの『ジゼル』、ジョン・クランコの『オネーギン』など



Bernardo Ribeiro, dancer

### ベルナルド・リベイロ (ダンサー)

リスボンの国立コンセルバトリー・ダンス・スクール(EDCN)でプロフェッショナル・ダンサー養成コースを修了。2012年にノーザンバレエスクールに入学し、2週間で2年生に進級、2014年7月7日にコースを修了した。



◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。